

# 募集班長の模型部屋(第32回)

皆さんこんにちは。先日の年末年始休暇で秋葉原にて模型の買出しをしましたが、この時に、つい正月気分誘われて、模型の福袋(1万円)を購入しちゃいました。袋の中には自分では買わない意外なキットが沢山入っていて、これから作るのがとても楽しみです。福袋ってとてもワクワクしますね。娘達がアクセサリーや雑貨の福袋を買う気持ちが分かります。しかし問題も発生しています。それは製作速度が追いつかないので、押入れの中でプラモがたまっていく事です。業界用語では「積みプラ」というのですが、単身のアパートにはこの2年半で沢山のプラモが積まれています。最近は製作速度を上げるように複数のキットを一斉に作っています。子供の頃では考えられない贅沢な作り方です。さて、今回は、そんな贅沢な作り方で作った

## 73式小型トラック(斥候車)です。



今までも沢山の73式小型トラック(パジェロ)を作っていますが、製造元のモノクロームさんが次から次へと違う仕様の車両を発売するので自衛隊車両ファンの私としては買わないわけにはいきません。今回もフォグライトがバンパーの中に組み込まれた新型タイプとこの斥候車のタイプの2両を一気に作りました。今回は、別売りの乗員セットも乗せてみました。

斥候車はよく訓練展示などで機関銃を撃ちながら敵陣地に突進していくイメージがありますが、偵察隊では敵との接触が予期される地域に到着後、すぐに車から降りて重装備で徒歩にて偵察行動に移行するのです。私が幹部偵察課程教育を受けたとき、ジープの斥候車で行動しましたが、ほとんど乗れませんでしたね。すぐに降りて、藪の中をひたすら歩いて、敵役の教官たちに追いかけて・・・ドキドキする訓練だったのを思い出します。



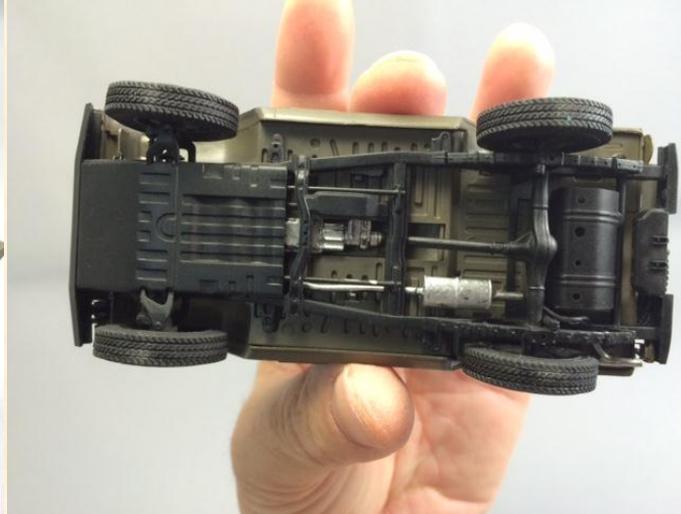
私の幹部候補生の同期がかつて第1偵察隊で勤務しており、当時配備になったばかりのパジェロの斥候車に各種装備をどのように積載するかを研究していました。偵察任務は長期にわたる時もあるので、燃料や弾薬、糧食や携帯無線機のバッテリー・・・工夫して積載しないと任務が遂行できません。意外と物が積めないのが大変だったと話を聞きました。



とはいえ、機関銃MINIMIが搭載されただけでもかっこいいですね。なんか自分が乗って斥候任務に就いたらどんなだろう・・・と、妄想にふけてしまいます。



オープントップなので、車内の塗り分けは丁寧にしました。現職自衛官モデラーなので、実車に忠実に塗装しました。でもまだまだです。



車体はクレオスの自衛隊戦車色セットのOD色を、シートは同社のオリーブドラブ（1）を、土工具はオリーブドラブ（2）を使用してアクセントをつけてます。実車も使用していくうちに退色するので、写真によってはもっとグレーに見える車両もあります。



フロントウィンドは射撃の衝撃で割れないようにと反射を防止するために毛布等でカバーします。今回は古い毛布を使用したとの想定で、濡らしたティッシュを水で溶いた木工用ボンドを塗りながら包み、旧式毛布色のカーキドラブで塗装しました。



隊員は防護マスクケースがついていなかったため、タミヤのオートバイ乗員のパーツを複製して作り、腰の銃剣は10式戦車の戦車乗員のパーツを複製して使用しました。（見えな  
いけど・・・）89式小銃スリングはマスキングテープを細く切って使いました。少し太か  
ったかも・・・迷彩服の塗装がとにかくつらいです。



「え、その銃って本物ですか？自衛官ってカッコイイから憧れちゃいます！」と、自衛官を目指す女子高生の「さやか先輩」と「はるかちゃん」です。再度登場してもらいました（笑）

やっぱり、男性自衛官も普通の人間ですから、女性に声を掛けてもらえると気分が上がります。全国の自衛隊ファンの女性のみなさん！ぜひ隊員に直接声を掛けてください。そして、自衛隊ファンの男性のみなさん、志願しましょう！（笑）

今回はここまで。またお付き合いください  
ね！